

科 目	物理 I	単位数	3	教科書・副教材等
学科・学年 コース	情報通信科 3 年			教科書 物理 I (実教出版)
履 修	必修	担当教員	1 人	

### 1 年間の学習目標

自然に対する観察・実験などをもとに、エネルギーや物質の成り立ちを考察、学習し、「自然」と「自然と人間のかかわり」に対する理解を深め、次代を担う情報通信技術者としての基礎を培う。

### 2 年間指導計画

月	大項目	単 元	到 達 目 標	評価方法
	第 2 章 物体の運動	1 節 運動の表し方 2 節 力 3 節 運動の法則	・ 物体の運動の記述方法、解析方法を身に付け、物体の運動を予測できるようになる。また、運動について理解を深める。	定期考査 小テストの点数 課題・実験とレポート 授業に取り組む姿勢
	第 3 章 エネルギー	1 節 運動とエネルギー 2 節 熱とエネルギー	・ 仕事とエネルギーに関する諸現象を考察することにより、エネルギーとは何かを理解し、効率的なエネルギーの利用方法や、人間が直面するエネルギー問題に関して正しく理解する。	定期考査 小テストの点数 課題・実験とレポート 授業に取り組む姿勢
	第 4 章 波	1 節 波の性質 2 節 音 3 節 光	・ 普段何気なく接している光・音に関する諸現象が、波動が引き起こす現象であることを理解し、物理現象の基本のひとつ、波動について考察を深める。	定期考査 小テストの点数 課題・実験とレポート 授業に取り組む姿勢

### 3 学期の評価について

1. 定期考査	( 関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解 )	80%
2. 小テストの点数	( 知識・理解 )	5%
3. 課題・実験とレポート	( 関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解 )	10%
4. 授業に取り組む姿勢	( 関心・意欲・態度 )	5%
以上の要素を考慮し総合的に判断する。		

### 4 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	自然に対して、畏敬の念を持ちつつ接し、諸現象をありのままに受け入れる態度をとることができるかどうか。
思考・判断	自然に対して、自分の独断を押し付けず、科学的な知識に基づき、適切なモデルを用いて考察を深めることができるかどうか。
技能・表現	自然現象を予断無く観察し、実験目的に合うよう実験を行うことができるか。また、実験データを適切に処理し、結果をまとめ、表現することができるか。
知識・理解	高度情報化社会を支える技術者として、新たな技術革新に対応するために基本となる自然現象の基礎知識を身に付け、目的に応じて適切なモデルで自然を記述・予測できることを理解できたかどうか。

### 5 担当者からのメッセージ

物理 I では、授業中に演習も行います。集中して授業を受け、授業時間だけで物理 I の内容を理解できるよう努力すること。家庭学習の時間は、専門教科や英数、資格試験の勉強にあて、普段は物理 IA に家庭学習の時間をさくことが無いよう気をつけること。理解できないことがあれば、休み時間などに質問すること。
--